

# サイエンスショーを行いました

11月18日(火)に、『世界一受けたい授業』などのテレビなどでもご活躍している松延康氏をお招きしてサイエンスショーを行いました。絶妙な語りで、子どもたちを魅了し引きつけるだけではなく、科学する心を刺激する2時間でした。一人一人LEDを利用した実験道具を使い、光の三原色の実験に取り組み、色と光の関係について楽しみながらも理解を深めることができました。和やかな中に真剣に楽しみながら学んだ2時間となりました。



		9日(火)	放課後パトロール(前期)
		11日(木)	上級学校体験報告会(7年)
		12日(金)	委員会⑪
		17日(水)	貯金日(前期)
		18日(木)	後期課程集会 貯金日(後期)
1日(月)	職員会議 交通安全街頭指導(後期)	19日(金)	特別支援学級前後期合同クリスマス会
2日(火)	参観日(全学年懇談) 1年給食試食会	24日(水)	クラブ⑦
3日(水)	前期課程集会	25日(木)	2学期終業式(給食あり)
4日(木)	読み聞かせ(1・2年) いじめ防止集会(5~9年)	26日(金)	学習サポート① 自主学习支援①
5日(金)	クラブ(前期) 9年学力テスト模試	29日(月)	学習サポート② 自主学习支援②
8日(月)	租税教室(9年)		学校閉庁日(~1月3日)



# 比布中央学校だより

## 成功体験 ↔ 失敗体験

校長 杉 本 仁

### 開校記念日のお話し

11月22日(土)は、比布中央学校の開校記念日でした。昨年も学校だよりで紹介しましたが、今年も書きたいと思います。11月22日という日は、ご存じの方も多いと思いますが、もともとは中央小学校の開校記念日です。以前、校歌のことを話題にさせていただきましたが、校歌は比布中学校のものを引き継ぎ、開校記念日は中央小学校のものを引き継いだこととなります。ちなみに校訓の「愛と誠意」は中央小学校の校訓「愛」と比布中学校の校訓「誠意」の両方を引き継いだものです。

それでは中央小学校の歴史と11月22日の由来を振り返ってみたいと思います。

中央小学校は、昭和40年4月1日、比布小学校と西分校、東園小学校と統合し比布町立中央小学校として開校しました。翌年、更に南小学校と統合し昭和42年初代の校舎が完成しました。



【昭和42年落成の旧校舎】

開校以来50年以上、比布町の発展とともに歩み続け、3,000名を超える卒業生を送り出してきました。この間、校舎は平成18年に校舎棟、19年に体育館が改築され、20年の外構工事の終了をもって全面改築がなされました。(現在の中央学校前期課程校舎です。)

その後、平成21年3月31日で閉校した蘭留小学校を統合し、平成21年4月より、町内唯一の小学校として歴史を刻んできました。

開校記念日の11月22日ですが、昭和42年4月1日に校舎完成、8月15日にグラウンド造成完了、11月3日に体育館完成となり、全ての工事が終了したのち、11月22日に校舎の落成式典、開校式典を挙行したとなっており、この日を記念し**11月22日が中央小学校の開校記念日**となりました。

先日、旭川市内の高校の校長先生数名とお話しさせていただく機会を得ました。その時の話題がタイトルの通り、成功体験が大切か？失敗体験が大切か？というものでした。

なぜ、この話になったのかは、離職率の話からでした。令和3年度に高校・大学を卒業し、3年以内に離職する率は以下の通りです。

	高 卒	大 卒
全 国	38.4%	34.9%
北海道	45.3%	37.8%

(厚生労働省：北海道労働局)

全国的な推移でいくと、コロナ禍明けの採用者が急増した年以降、徐々に上昇傾向(最新データは若干低下)であるのですが、高校の校長先生が気にしていたのは、北海道の離職率の高さです。特に、高卒者の離職率は全国的にも高い部類に入るそうです。※従業員数が少ない企業の方が、高い傾向もあるので、北海道が高くなってしまいう面もあります…。

そこで、話題に出たのが「成功体験が大切か？失敗体験が大切か？」ということでした。

一般的に「スモールステップを大切に、小さな成功体験を積み重ね、自信をもたせ大きな成功につなげていく。」などと言いますが、「一つの失敗で、自信を無くしてしまい、仕事に行けなくなるケースが多い。」とも言われています。

そこで、話題になったのは、本当に大切なのは、**「失敗しても、自分で立ち直った経験」「失敗しても、挽回し成功を得た経験」「失敗しても、それを修正して新たな一歩を踏み出した経験」**であるということです。

親として(私自身も)自分の子どもには、失敗させたくないと思いますが、昔から、「かわいい子には旅をさせよ」とか「獅子の子落とし」のように厳しさを乗り越えさせることも、大切だなあと感じた時間でした。



## 合唱交流会を行いました

11月13日（木）に合唱交流会を行いました。前半は、5～9年生の合唱コンクールを実施しました。緊張した中でしたが、どの学年の合唱も大変素晴らしく、聞いている人たちに感動を与えました。学年に応じた素晴らしい歌声に観客の皆さんも児童生徒も聴き入っていました。審査員は、北川教育長、合唱ワークショップでお世話になった川島先生、杉本校長先生の3名にお願いしました。審査員の川島先生は子どもたちの頑張りに涙を見せる姿も見られました。審査の結果、9年生が最優秀賞に輝きました。後半は、1～4年生の児童も参加し、全校児童生徒と地域や保護者の皆さん全員で「ふるさと」を歌いました。審査員もしていただいた川島先生による、全体指導のあと全校で体育館中に歌声が響き渡りました。いつかこの比布を離れることがあっても、きっとこの日の光景は忘れないだろうと思いました。参加していただいた、たくさんの保護者や地域みなさま、ありがとうございました。



## 比布町活性化プロジェクトを行いました

10月29日（水）に、9年生の総合的な学習の総まとめである「比布町活性化プロジェクト」の発表会を行いました。これは、比布町を更によりよくするためにはどうすれば良いかについて、課題を明確にしつつ、その解決に向けての提案を行うというものです。東京への修学旅行で学んできたことなどを生かしつつ、実現可能と考えた比布町の活性化案を町長さんに向けて提案を行いました。それを受けて、町長さんからは、1つ1つのプロジェクト毎に丁寧に感想やアドバイスをいただき、自分たちの町の未来に向けて真剣に考える時間になりました。



## 後期課程生活体験を行いました

10月27日（月）に、6年生の後期課程生活体験を行いました。後期課程の授業を見学したり、実際に後期課程の先生の授業を受けたり、進路についての話を聞いたりするなど、後期課程について理解を深めることができました。また、午後には、生徒会主催の集会への参加や部活動体験も行われました。部活動体験では、6年生のそれぞれの希望をもとに体験を行いました。楽しそうに7・8年生と活動する様子が見られました。後期課程に向けての見通しを持ち、不安がなくなっていたようでした。



## 町教研公開授業がありました。

11月5日（水）に町教研公開授業を行いました。今年度も全職員で何度も研修を重ね、3年生（工藤知里教諭）、5年生（福本教諭）、8年生（鈴木文也教諭）が、授業を公開をしました。本校の教職員はもちろん、他の学校の方や、上川教育局主任指導主事にもご来校いただき、授業を参観していただきました。



本校の研修は、前期課程・後期課程に関わらず、全ての子どもを全教職員で育てていくという意識のもとで行われています。義務教育終了時の子どもの姿を意識した熱心な話し合いをすることができました。

## 野球部の君の夢プロジェクトを行いました

11月9日（日）に野球部の君の夢プロジェクトを行いました。今年度も元日本ハムファイターズの鶴岡慎也さんをお迎えして、野球部の練習を見ていただきました。真剣に練習に取り組み、動きが見違えるようになっていきました。

